修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.32)をご確認ください

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店　〒

電話　ー

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口

商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ
TEL 0120-03-1010
FAX 0120-09-1010
受付時間：9:00〜17:00(夏期休暇・年末年始を除く)

※携帯電話・PHSからのご利用は…093-951-2526(有料)へ

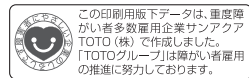
修理のご用命は

安心・信頼の TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ
ホームページ　http://www.tom-net.jp/
TEL 0120-1010-05
FAX 0120-1010-02
受　　付：年中無休
受付時間：8:00〜19:00
訪問修理：年中無休（一部地域を除く）
営業時間：9:00〜18:00
※携帯電話(PHSは除く)からのご利用は…ナビダイヤル 0570-05-1010(有料)へ

交換部品・別売品のご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ
TEL 0120-8282-55
FAX 0120-8272-99
受付時間：平日 9:00〜18:00　土・日・祝日 10:00〜18:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

※携帯電話・PHSからのご利用は…093-952-8682(有料)へ

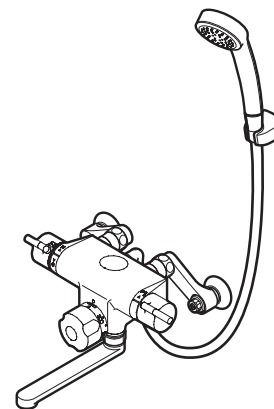
お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。
詳細はTOTOホームページをご覧ください。

TOTO株式会社
TOTOホームページ　http://www.toto.co.jp/

2013.2
03H24

TOTO

取扱説明書　保証書付

サーモスタット シャワー金具・バス水栓
(自動水止めタイプ)(本体用)

品番	TMF47型 TMJ48E型

◆このたびは、サーモスタットシャワー金具・バス水栓をお求めいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

◆シャワーに関しては、別紙ハンドシャワー「取扱説明書」を参照してください。

◆保証書に、取付店名、取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。

◆この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

適量ラベル

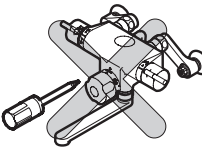
はじめに

使いかた

お手入れ

こんなときは

安全上のご注意（安全のために必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
●この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

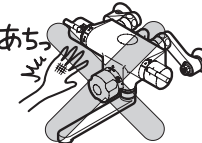
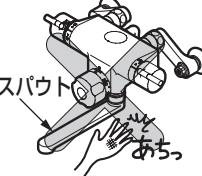
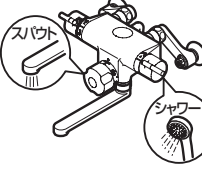



表　示	意　味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示	説明
（分解禁止）	⃠ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
（必ず実行）	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

⚠ 警告

区分	内容	図
禁　止	**給湯温度は85℃より高温で使用しない** 85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
禁　止	**この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取り外しなどの改造はしない** 商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	

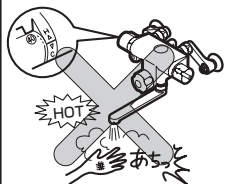
⚠ 警告

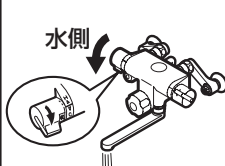
区分	内容	図
禁　止	**小さい子供だけで使用させない** やけど・けがをするおそれがあります。	
分解禁止	**この説明書に記載された項目以外は分解しない** 破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。	
接触禁止	**本体左側および湯側取付脚に直接、触れない** 給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。	
接触禁止	**高温の湯を使うときは、スパウトおよび水栓本体に直接、触れない** スパウトおよび水栓本体は高温になっているのでやけどをするおそれがあります。	
必ず実行	**湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめる** 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。 また、スパウトとシャワーの切り替えや、シャワー吐水状態の切り替えを行ったときに、温度が高くなることがありますのでご注意ください。	
必ず実行	**使う前に、スパウト側かシャワー側かを確認する** ※バス水栓タイプは除く 間違えると、不意に水をかぶったり、やけどをするおそれがあります。	

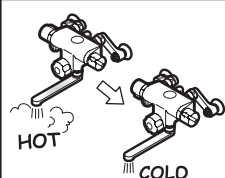
⚠ 警告

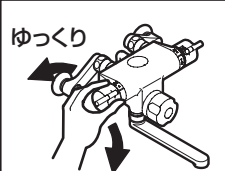
必ず実行

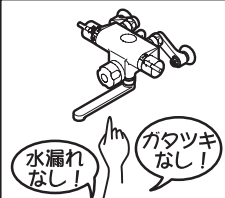
温度調節ハンドルの温度位置を確かめて水を出す

高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

高温の湯を使ったあとは、必ず温度調節ハンドルの目盛りを"40"以下に戻す

次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流す

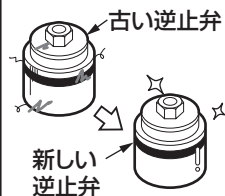
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

温度調節ハンドルはゆっくり回す

温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをするおそれがあります。

定期的(年2回以上)に、配管まわりの水漏れや、ガタツキがないか確認する

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

逆止弁は安全を確保するために定期的に交換する

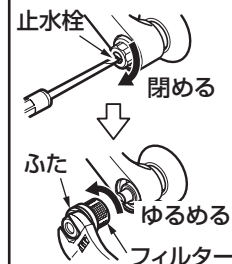
(P.31を参照してください)

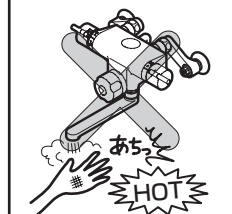
逆止弁が正常に機能しないと、水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。

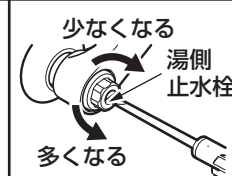
⚠ 警告

必ず実行

フィルターおよび自動バルブの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめずに、壁付きタイプの場合は止水栓、台付きタイプの場合は元栓を閉めてから行う
また、本体左側および湯側取付脚が熱くないことを確認する

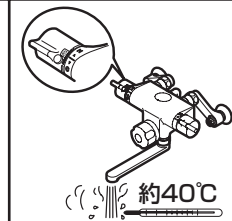
(P.26・P.27を参照してください)

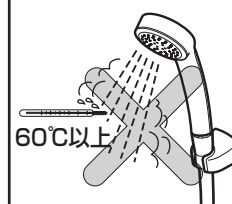
高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧にする

給湯圧力を給水圧力より高くすると、正常な温度調節ができなくなり、やけどをするおそれがあります。
給湯圧力を加圧する場合でも、必ず給水圧力より低くするか、同圧にしてください。

湯側の流量調節をするときは十分に注意する

熱湯が出て、やけどをするおそれがあります。

万一、凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度があっているか確認する

凍結すると、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。

禁　止

シャワーヘッドには熱湯（60℃以上）を通さない

シャワーヘッドが破損して、やけど・けがをするおそれがあります。
シャワーを浴びる場合は、安全のため、45℃以下の適温でご使用ください。

⚠ 警告

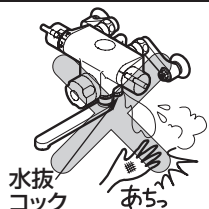
禁止

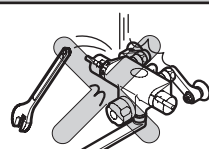
寒冷地用

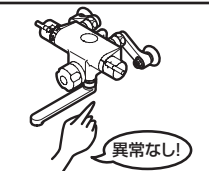
水抜コックは水抜き以外の目的で開けない

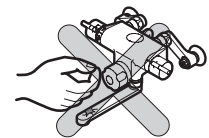
水抜コックをいきなり開けると、高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意

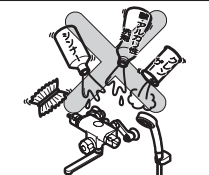
禁止

強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

ガタツキなどの異常はそのまま放置しない

ガタツキなどの異常を放置すると、部品の破損やめっき部品の表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一、部品の破損やめっきの割れを発見した場合は、ただちに修理を依頼してください。

めっきの部分は、ぶつけたり、無理な力で操作しない

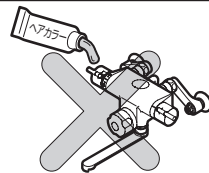
めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一、めっきの表面が割れた場合は、ただちに修理を依頼してください。

中性洗剤以外は使用しない

(P.29を参照してください)

中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。

化粧品などを水栓に付着させない

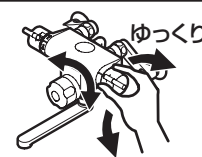
樹脂製部品にクレンジング剤、整髪料、洗髪料、ヘアカラーなどを付着させたまま放置すると、変色や破損のおそれがあります。万一、付着した場合はすぐに水で洗い流してください。

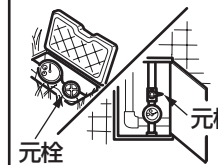
⚠ 注意

必ず実行

ハンドルの取り扱いには十分に注意する

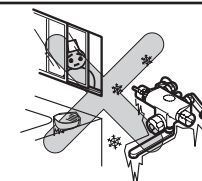
落下させるとけがをしたり、ハンドルが変形するおそれがあります。

シャワー開閉ハンドルはゆっくり操作する

急に閉めると「ドン」という音がして配管に衝撃が加わり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉める

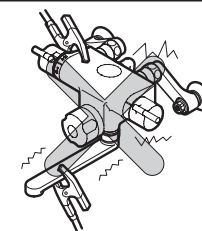
水漏れなど予想しない事故の原因になります。

凍結が予想される場所で使用する場合は、P.20を参照し、凍結予防を確実に行う

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

禁止

寒冷地用

解氷機(凍結した水道管などに電流を流して解凍する装置)を使用する場合、水栓には通電しない

水栓が発熱し、破損して家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行

寒冷地用

凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行う

(P.20を参照してください)

部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

各部のなまえ

TMF47E型

寒冷地用

水抜コック
(湯側・水側2カ所)
☞P.20

水抜コック
☞P.20

湯側フィルター
☞P.26

湯側止水栓

逆止弁
☞P.31

温度調節ハンドル

水側止水栓

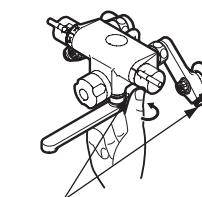
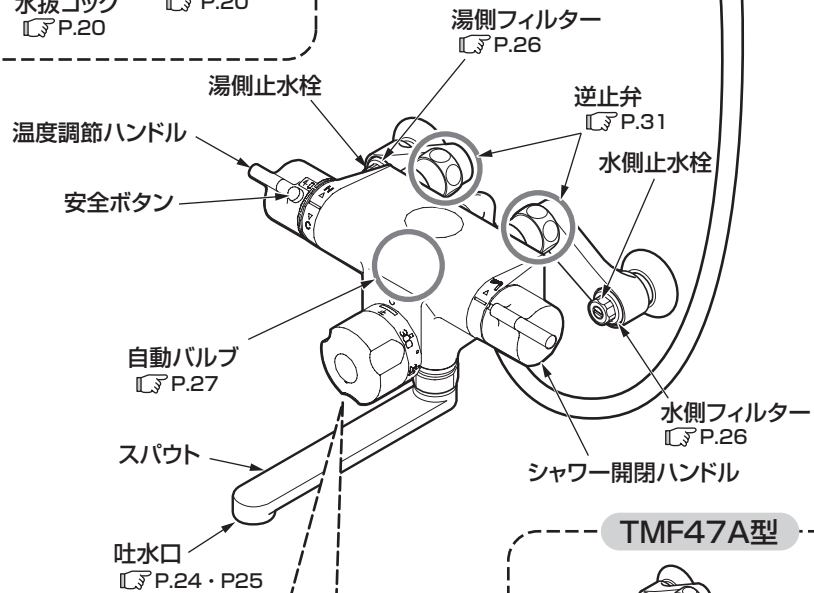
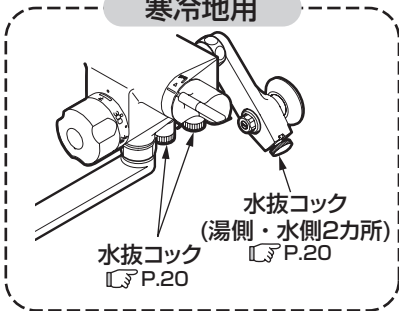
安全ボタン

自動バルブ
☞P.27

水側フィルター
☞P.26

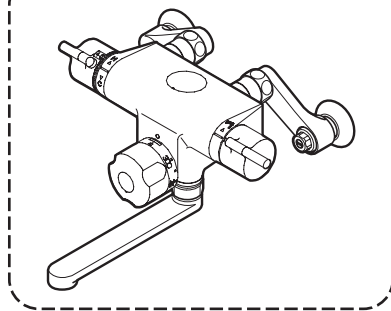
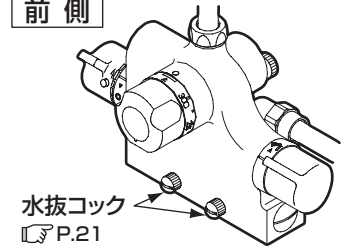
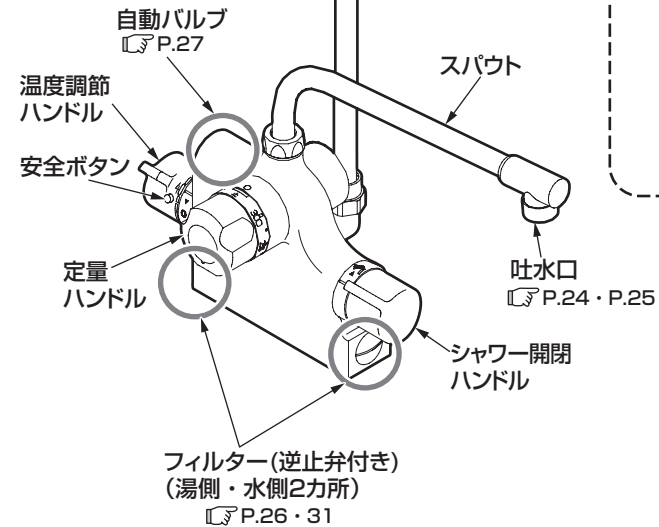
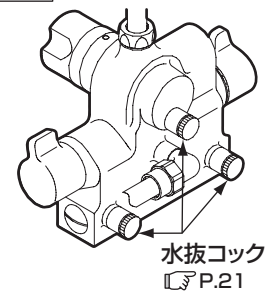
スパウト

シャワー開閉ハンドル

吐水口
☞P.24・P25

TMF47A型

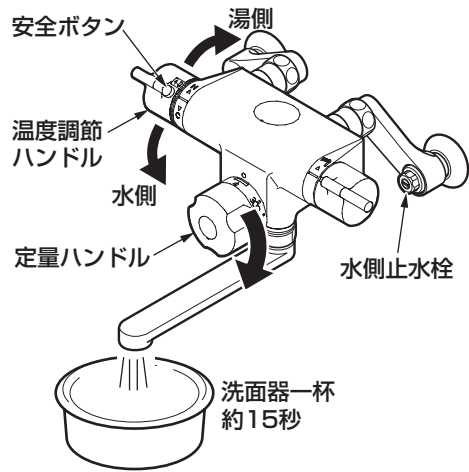
定量ハンドル

・希望湯量の目盛りに設定すれば、その量だけ水を出し、自動的に止まります。 ☞P.15

・さし湯、さし水など通常の開閉ハンドルとしても使用できます。 ☞P.15

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
※シャワーの使いかたは、別紙ハンドシャワー「取扱説明書」を参照してください。(TMF47A型は除く)
※バス水栓(TMF47A型)にはシャワーは付いていません。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。
※シャワーの使いかたは、別紙ハンドシャワー「取扱説明書」を参照してください。

ご使用前に

流量の調節（壁付きタイプの場合）

流量が多すぎる場合などは、次の要領で **止水栓** を調節してください。

1. 温度調節ハンドルを下（水側）いっぱいに回し、定量ハンドルを時計回りに回す。

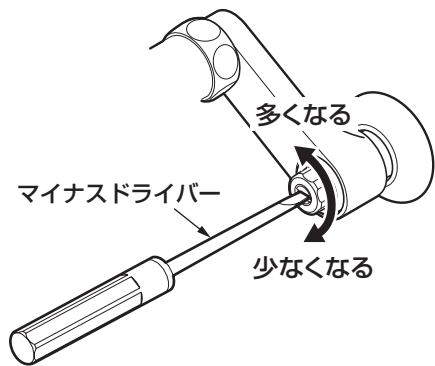
   スパウトから水が出ます。

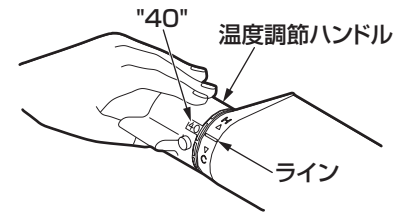
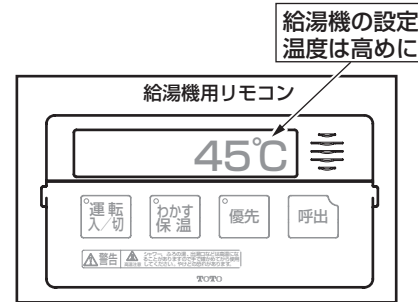
2. 流量が15L/分程度（洗面器一杯にするのに約15秒弱）になるように水側止水栓で調節する。

   時計回りに回すと流量が少なくなり、反時計回りに回すと多くなります。

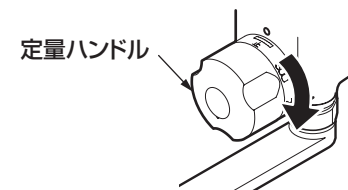
3. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上（湯側）いっぱいに回し、2.と同じように湯側止水栓で流量を調節する。

※湯側の流量調節をするときは十分に注意してください。

※流量を極端に絞らないでください。あまり極端に絞ると流量の感知精度が悪くなったり自動止水しないことがあります。
目盛り 150(約 150L)のとき、少なくとも 30 分以内で水が止まる程度の流量でご使用ください。

吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。
吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

TMF47E型の場合

TMJ48E型の場合

TMF47A型の場合

1. 給湯機の設定温度は希望の吐水温度より高めに設定する。

   温度調節ハンドルは目盛り"40"の位置で40℃の湯を吐水させるためには、給湯機の温度設定を40℃より高めに設定してください。
   快適なシャワー流量・温度を得るためには、60℃に設定することをおすすめします。

2. 温度調節ハンドルの目盛り"40"をラインにあわせる。

3. シャワーもしくは吐水口から水を出す。

   TMF47E型の場合

   TMJ48E型の場合

   シャワー開閉ハンドルを上いっぱいに回す。

   TMF47A型の場合

   定量ハンドルを時計回りに回す。

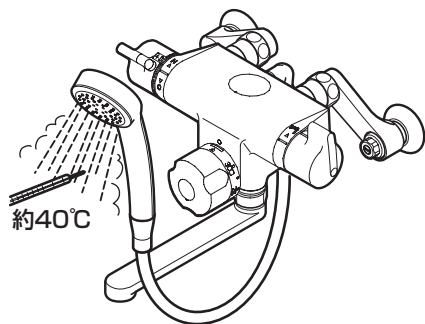
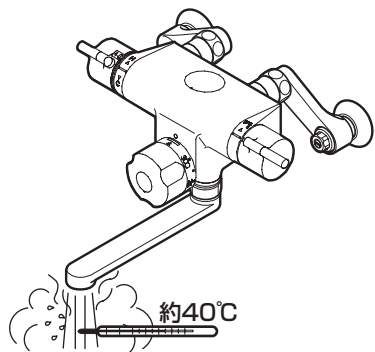
バス水栓タイプ

約40℃

4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が約40℃であればそのままご使用ください。
温度が低い場合は、40℃の湯が出るまで給湯機の設定温度を上げてください。
給湯機を50℃以上に設定しても温度が低い場合はハンドル設定が必要です。
誤作動によるやけど防止のため、給湯機の設定は60℃以下をおすすめします。

5. ハンドル設定が必要な場合

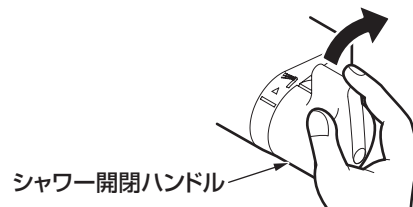
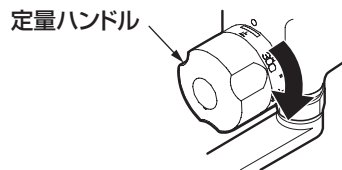
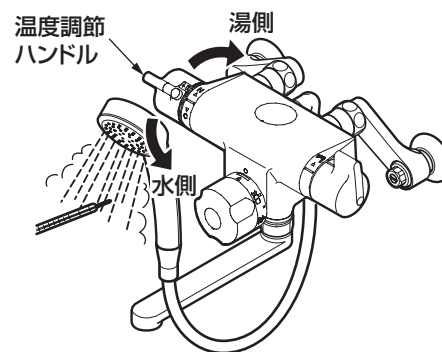
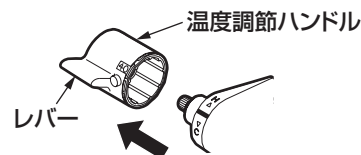
ハンドル設定については、取付店にご相談ください。
ご自身で設定される場合は、P.12をご参照ください。
なお、TOTOメンテナンス(株)においても、ハンドル設定を承っております。(有料)

サーモスタット混合栓のしくみ

サーモスタット混合栓は、湯と水を混合して、吐水温度を調整しています。このため、ガス給湯機や電気温水器などの給湯機で設定している温度より、吐水温度が低くなります。

（例）給湯機の設定を 40℃、サーモスタット混合栓の目盛りは "40" でも、吐水温度は 37℃に下がるなど低下する温度は水圧などご使用の条件によって異なります。

温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。
TOTOメンテナンス(株)においてもハンドル設定を承りますが有料作業となります。

TMF47E型の場合・TMJ48E型の場合

TMF47A型の場合

TMJ48E型の場合

1. シャワーもしくは吐水口から水を出す。

TMF47E型の場合・TMJ48E型の場合

シャワー開閉ハンドルを上いっぱいに回す。

TMF47A型の場合

定量ハンドルを時計回りに回す。

2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

3. 温度調節ハンドルを外す。

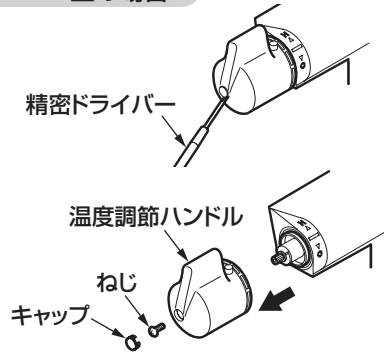
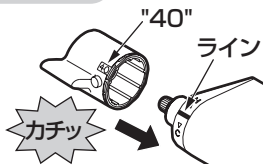
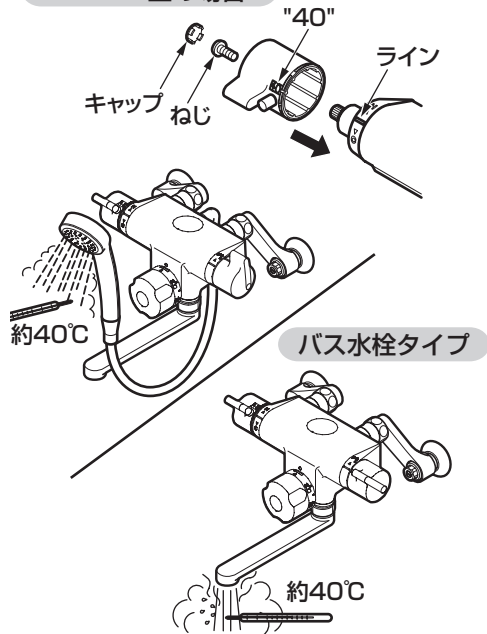
TMJ48E型の場合

温度調節ハンドルが回らないように注意してハンドルを抜き取ってください。

豆知識

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、傷が付かないようにレバー部を軽くたたいてください。

使いかた

TMF47型の場合

TMJ48E型の場合

TMF47型の場合

TMF47型の場合

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

注意

キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。

4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

TMJ48E型の場合

目盛り"40"の文字とラインをあわせて温度調節ハンドルを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

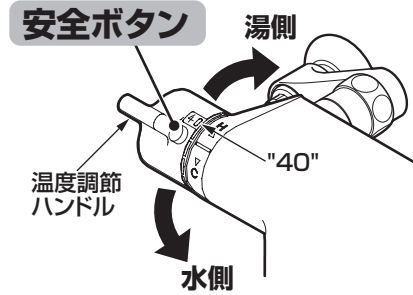
TMF47型の場合

目盛り"40"の文字とラインをあわせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

5. 固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。

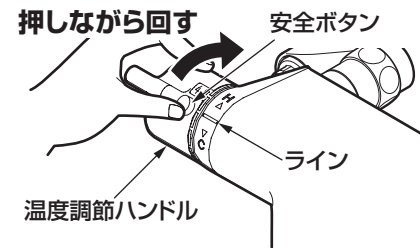
使いかた

温度調節の仕方

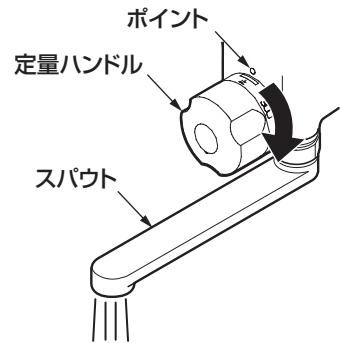
押しながら回す
安全ボタン
ライン
温度調節ハンドル

温度調節ハンドルを回す。

目盛り"40"を目安とし、お好みの温度をラインにあわせてください。

40℃以上の湯を出すには

安全ボタンを押しながら回す。

安全ボタンは、目盛り"40"を超えた付近でロックされます。
これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

安全ボタンを押して高温を使用された場合は、ハンドルを必ず目盛り"40"以下に戻しておいてください。

定量ハンドルの使いかた

水(湯)を出す

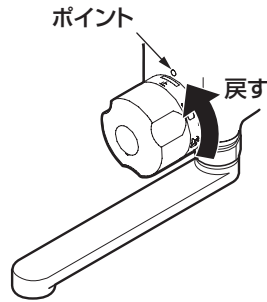
定量ハンドルを時計回りに回す。

定量ハンドルを時計回りに回し、ご希望の目盛りをポイントにあわせてください。希望湯量の目盛りに設定すれば、その量だけ水を出し、自動的に止まります。

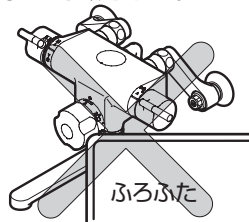
120以下の目盛りに設定するときは、一度⇐印以上回してから戻して設定してください。
※ハンドルの数値がおよその湯量を示します。
(例:150=150L)
設定位置については一度湯をためてみて、浴槽の適量を確認してください。

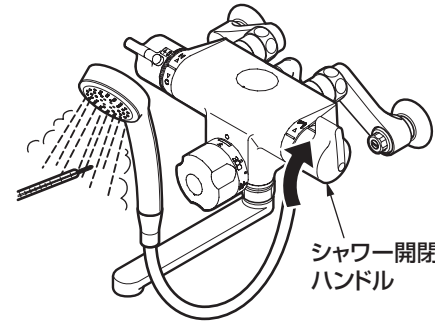
水(湯)を止める

定量ハンドルの目盛りがポイントの位置で "止" になるまで戻す。

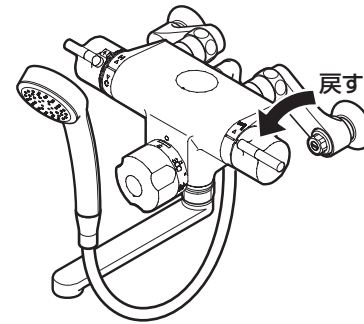
水が止まります。
定量ハンドルは手動でも止めることができますので、さし湯・さし水などにも使用できます。

豆知識

●**自動吐水時は定量ハンドルの自動回転を妨げないでください。**

自動吐水時は定量ハンドルがゆっくりと自動回転しますので、その動きを妨げないようにしてください。
動きを妨げると、湯量が多くなったり自動止水しなくなります。
(ふろふたなどが定量ハンドルに当たらないようにしてください)

使いかた

シャワーの使いかた (TMF47E型・TMJ48E型の場合)

水(湯)を出す

シャワー開閉ハンドルを上に回す。

水が出ます。
また、上いっぱいに回すと流量が最大になります。

水(湯)を止める

シャワー開閉ハンドルをラインの位置まで戻す。

水が止まります。

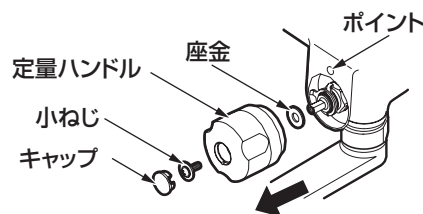
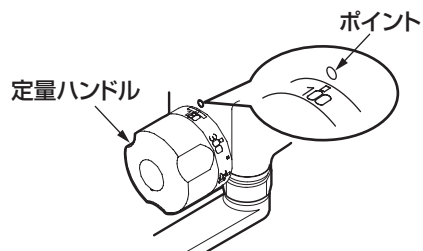
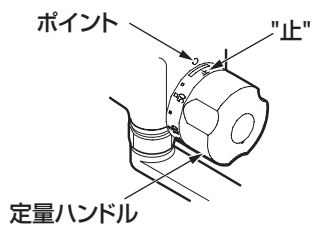
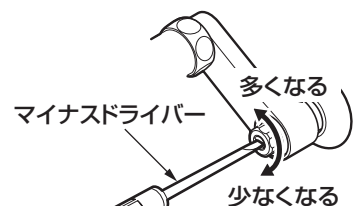
シャワー開閉ハンドルはゆっくり操作してください。
ウォーターハンマー現象が発生する場合があります。

注意

「ウォーターハンマー現象」とは、急に水を止めたときに「ドン」という大きな音がする現象で、水栓の不具合ではありません。配管の損傷や水漏れの原因となる場合がありますのでシャワー開閉ハンドルをゆっくり閉め、ウォーターハンマー現象を発生させないようにご注意ください。

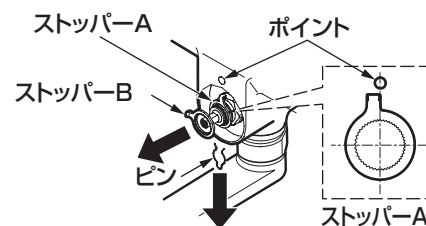
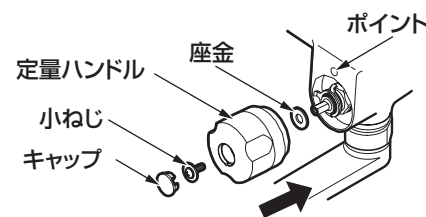
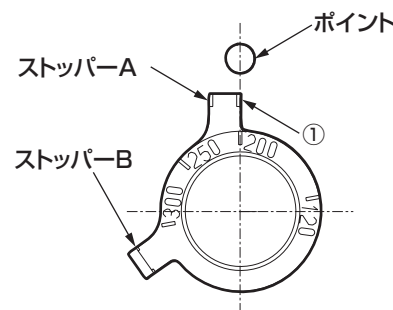
使いかた

最大設定量の調節

定量ハンドルの最大設定量を目盛り250（約250L）に設定していますが、最大目盛り300（約300L）まで設定できます。
また、最大設定量を調節しておくと大変便利です。
設定量を調節する前に、実際に浴槽へ湯または水をためて適量を確認し、次の要領で調節してください。

1. マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉める。

2. 定量ハンドルの目盛りがポイント位置で "止" になっていることを確認する。

3. 定量ハンドルの目盛り"100"をポイントにあわせる。

4. キャップ・小ねじを外し、定量ハンドル、座金を外す。

5. ピンを抜いて、ストッパーBを外す。

このときストッパーAは外さないでください。
もし外れた場合は、ポイントに対して図のようにあわせて入れてください。
本体に突起あわせのラベルを貼り付けている商品は、ストッパーAをラベルの位置にあわせて入れてください。

約200Lにあわせた場合

6. ストッパーBを適量にセットする。

ストッパーBの数字はおよその湯量(L)を示します。数字は50単位になっていますが10単位の設定が可能です。

ストッパーAの端面①とストッパーBの数字をあわせてください。

ストッパーBを120以下にセットしないでください。
自動止水しなくなります。

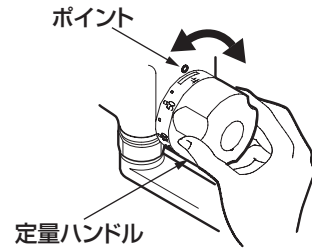
7. ピンをはめ、定量ハンドルを取り付ける。

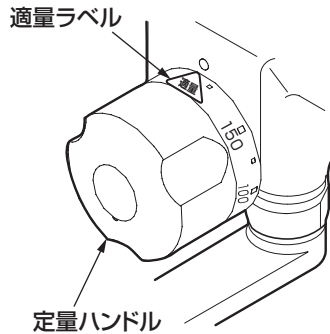
※このとき座金を忘れると定量ハンドルが回らなくなることがありますのでご注意ください。

※定量ハンドルをはめ込むとき板ばねが出てくることがあります。
そのときはドライバーなどで元どおりに押し込んでください。

8. 止水栓または元栓を開ける。

120（約 120L）以下に設定するときは、⊂印以上回してから設定してください。

湯量を120(約120L)以下に設定するときは、必ず定量ハンドルを ⊂印以上回してからご希望の目盛りに戻してあわせてください。
そのまま120以下の目盛りにあわせますと、自動止水しないことがあります。

<適量ラベル>

最大設定量を調節しない場合でも、浴槽に湯をためるとき
あわせる目盛りの上に適量ラベルを貼っておくと便利です。

表紙に添付している適量ラベルを設定量の目盛りの上に貼り付ける。

※貼るときは、表面の汚れや水分をよくふき取ってください。

凍結予防の仕方（凍結が予想される場所でご使用になる場合）

◎水栓が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因となります。
◎凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
◎凍結のおそれがある場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
なお、氷点下になる場合は、次の処置を実施してください。

一般地用をご使用の場合

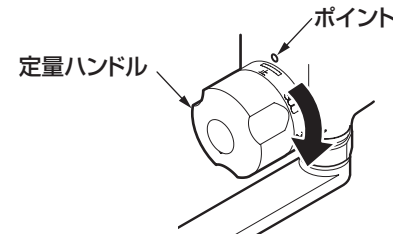
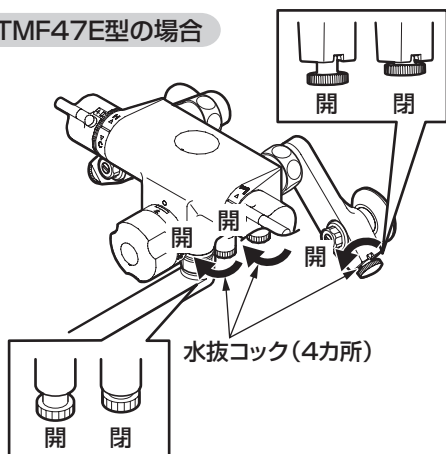
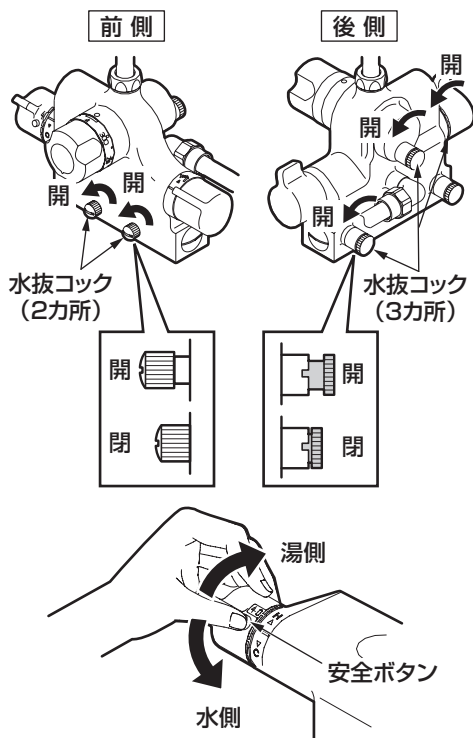
凍結が予想される場所でご使用になる場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- ●水栓より少量の水を出してください。
- ●配管部などに保温材を巻いてください。

寒冷地用をご使用の場合

下記の手順に従って水抜きを行ってください。

1. 配管部の水抜栓などにより通水を止めて、水抜きを行う。

2. 定量ハンドルを ⊂印以上まで回す。

3. 水抜コックをすべて開ける。

水抜コックは、壁付きタイプの場合は4カ所、台付きタイプの場合は5カ所あります。

TMF47E型の場合

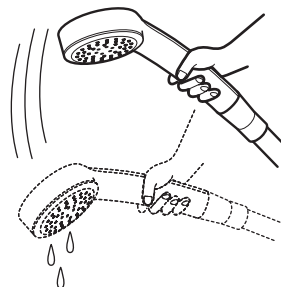
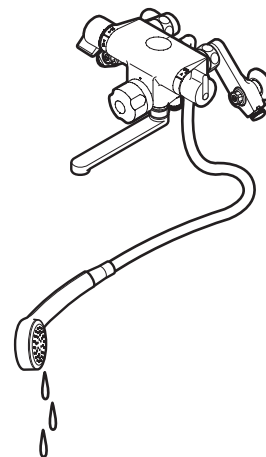
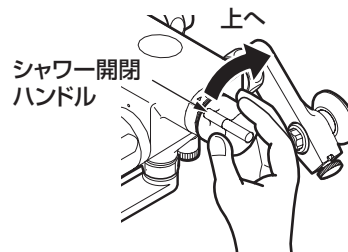
①取付脚部の水抜コック(2カ所)を左図のように回す。

②本体部の水抜コック(2カ所)を左図のように回す。

TMJ48E型の場合

水抜コック(5カ所)を反時計回りいっぱいに回す。

4. 安全ボタンを押しながら、温度調節ハンドルを上(湯側)いっぱいに回して水を抜く。

5. スパウトから水が出なくなったら、下(水側)いっぱいに回して水を抜く。

6. TMF47E型の場合・TMJ48E型の場合 スパウトから水が出なくなったら、シャワー開閉ハンドルを上いっぱいに回す。

※バス水栓の場合不要です。

7. シャワーヘッドを床近くに下げ、ホース内の水を抜く。

※バス水栓の場合不要です。

8. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。

※バス水栓の場合不要です。

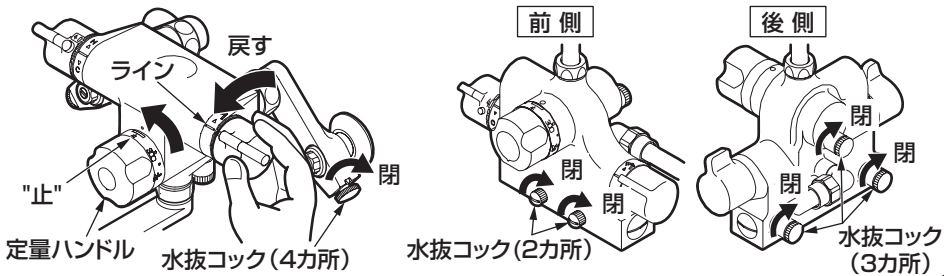
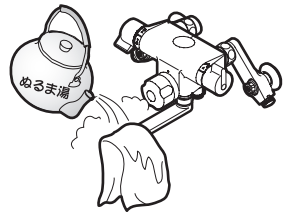
水抜き完了後は必ず水抜コックを確実に閉めて開閉ハンドルのレバーを水栓本体のラインの位置(水が出ない状態)に戻してください。

通水を再開する場合

すべての水抜コックが閉まっていることを確認し、定量ハンドルを"止"の位置、シャワー開閉ハンドルをラインの位置（水が出ない状態）に戻してから通水を再開してください。

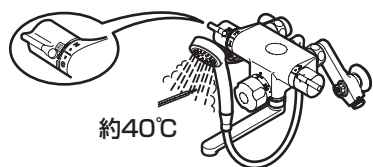
水抜コックを確実に閉めないと高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

壁付きタイプの場合、通水再開後に流量が変わったときは、P.9の「流量の調節」を参照のうえ、流量を調節してください。

TMF47E型の場合・TMF47A型の場合　　TMJ48E型の場合

水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合

水抜きを行っても吐水口の網目やフィルターに付着した水滴が凍り、通水後も少しの間、水が出ない場合があります。
そのときはタオルなどの布を巻き付け、しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときの急な冷え込みにそなえて、凍結予防を行ってください。

万一、凍結した場合

万一、凍結した場合は、温度調節ハンドルの目盛り"40"と吐水温度があっているか確認してください。
凍結すると、設定温度がずれてやけどをするおそれがあります。

日ごろのお手入れ

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

吐水口のお手入れ（TMF47E型・TMF47A型の場合）

1. 吐水口キャップ、パッキンを取り外す。

   吐水口キャップの溝に丸い板状のもの(ボタンやメダルなど)を当ててゆるめる。

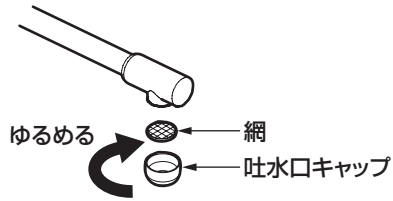
   マイナスドライバーなど先の細いものは使用しないでください。

2. 吐水口キャップに詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。

3. 吐水口キャップとパッキンを取り付ける。

   ※分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。
   ※吐水口キャップの向きに注意してください。

吐水口のお手入れ（TMJ48E型の場合）

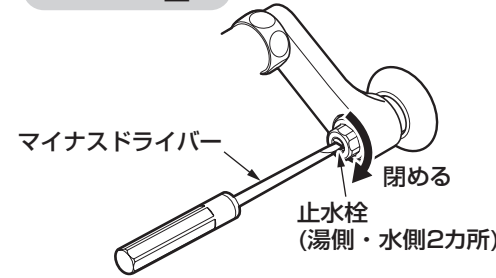
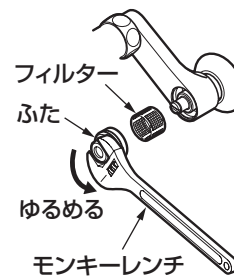
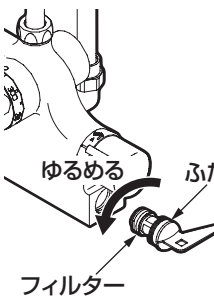
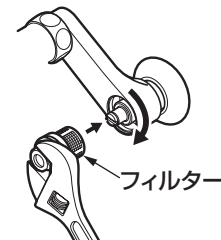
TMJ48E型

1. 吐水口キャップを回して外す。

   外れないときはゴム手袋などを使用して外してください。

2. 吐水口キャップや網に詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。

3. 吐水口キャップに網・パッキンを入れ、取り付ける。

分解するときは、部品を紛失しないように注意してください。

フィルターのお手入れ

TMF47型

TMF47型

重要

1. マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉める。

   TMJ48E型は元栓を閉めてください。

2. TMF47型

   モンキーレンチを使用して、ゆるめてふたとフィルターを取り外す。

   TMJ48E型

   開閉工具をふたの溝に差し込み、ゆるめてフィルターを取り出す。

   ※フィルターは、湯側・水側の2カ所あります。

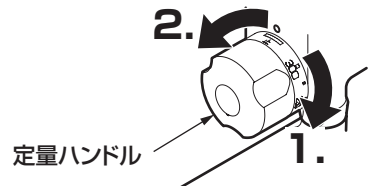
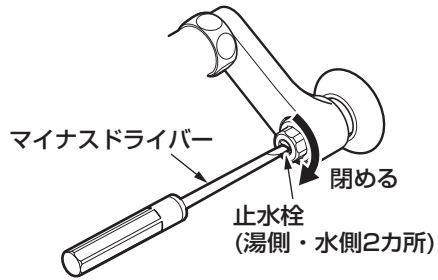
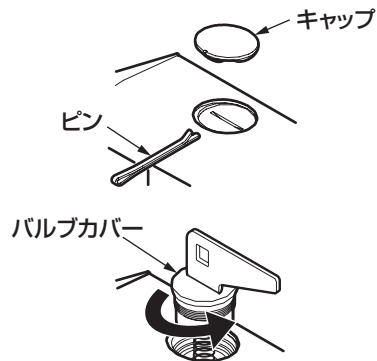
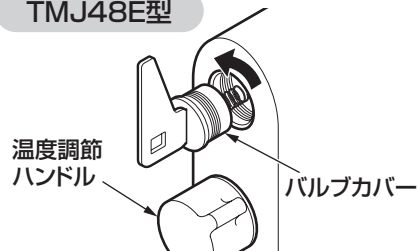
   ※湯側フィルター部が熱くないことを確認してください。

3. フィルターに詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。

4. TMF47型

   フィルターをふたに組み付ける。

5. ふたを取り付け、止水栓または元栓を開ける。

自動バルブのお手入れ

TMF47型

TMJ48E型

1. マイナスドライバーで湯側・水側の止水栓を閉める。

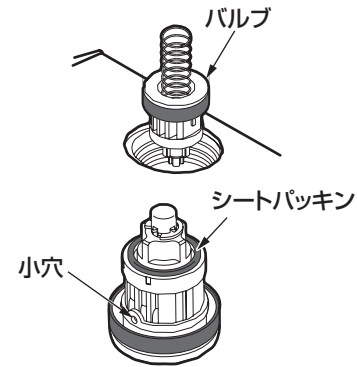
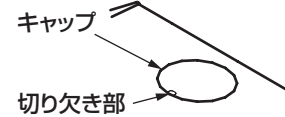
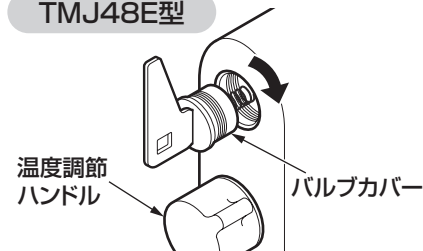
TMJ48E型は元栓を閉めてください。

2. 定量ハンドルを時計回りへ回し、水が出ないことを確認する。

3. 定量ハンドルを反時計回りへ止まるまで回す。

4. TMF47型
本体上面のキャップをピンなどを使って取り外す。

5. バルブカバーを開ける。

TMJ48E型は左側面にあります。

TMF47型

TMJ48E型

6. バルブ部を取り出す。

7. シートパッキンにごみかみがないか調べる。

8. 小穴が詰まっていたら細い針金で掃除する。(荷札の針金など)

9. バルブ部を水洗いしたあと、元どおりにおさめ、バルブカバーを取り付ける。

10. TMF47型
本体にキャップを取り付ける。

このとき、切り欠き部が正面になるように確実にはめ込んでください。

11. 湯側・水側の止水栓を開ける。

TMJ48E型は元栓を開けてください。

布を使用したお手入れ

●軽い汚れの場合

水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

●ひどい汚れの場合

適量に薄めた浴室用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。

TOTO蛇口まわりのクリーナーでのお手入れ

水栓に傷をつけずに、水あかなどの汚れを効果的に除去できる「TOTO蛇口まわりのクリーナー」のご使用をおすすめします。

お求めに関するお問い合わせ先：
TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター

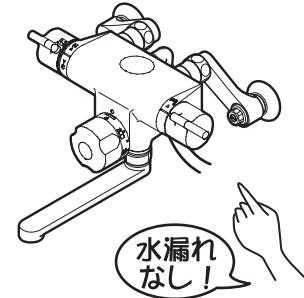
お願い

水栓が破損するおそれがあるものは使用しないでください。

- **酸性洗剤、塩素系漂白剤、TOTO蛇口まわりのクリーナー以外のアルカリ性洗剤**
  水栓の表面が変色したり、樹脂部品が破損するおそれがあります。
- **シンナー、ベンジンなどの溶剤**
  ゴムや樹脂部品が破損するおそれがあります。
- **クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤**
- **ナイロンたわし、たわし、ブラシなど**
  水栓の表面が傷つきます。

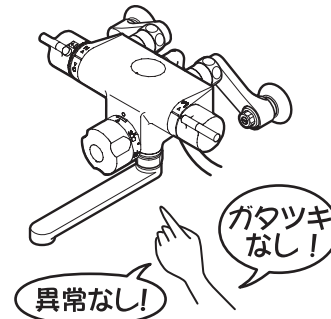
定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

配管まわりの水漏れ（年2回以上）

配管まわりの水漏れがないか確認する。

劣化・摩耗などで部品が破損し、けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

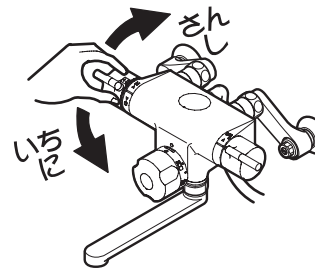
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を閉め(P.32参照)、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

商品のガタツキ（年2回以上）

商品にガタツキなどの異常がないかを確認する。

配管まわりにガタツキがあるままお使いになると、配管に負荷がかかり、水漏れの原因になります。

また、ガタツキなどの異常を放置すると、部品の破損やめっき部品の表面が割れて、けがをするおそれがあります。

お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

温度調節ハンドルの操作性（月1回）

ときどき温度調節ハンドルを回す。

温度調節ハンドルを長期間回さずに使用すると機能部に水あかなどが付着し、温度調節機能が損なわれるおそれがあります。

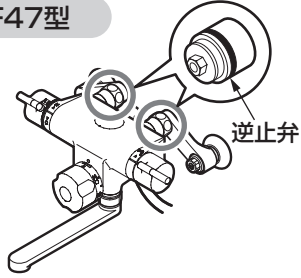
動きが悪い場合は、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

定期的な部品交換のお願い

安全・快適にご使用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

逆止弁の交換

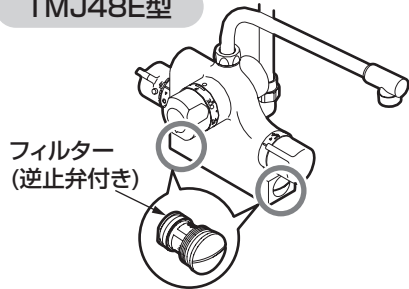
TMF47型

逆止弁

TMJ48E型

交換時期の目安：3～5年ごと

逆止弁が正常に機能しないと、水が逆流するおそれがあります。また、水漏れなど予想しない事故の原因になります。

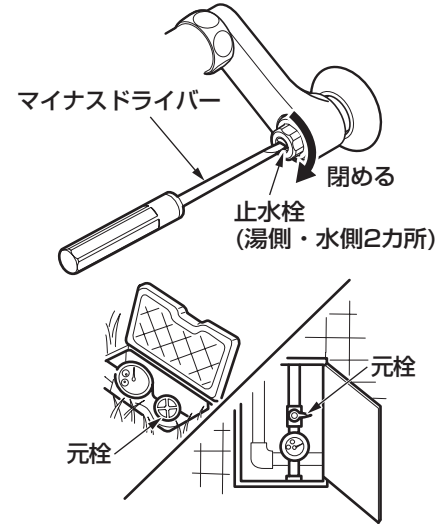
逆止弁の交換は、**お求めの取付店・販売店、またはTOTOメンテナンス(株)**へ依頼してください。

TOTOメンテナンス(株)にご依頼の場合、修理料金は、技術料＋部品代＋訪問料がかかります。

※ご依頼されたアフターサービスの履歴をメモしておくと便利です。

年 月 日	サービス内容	担当者

故障かな?と思ったら

緊急時の水の止めかた

配管まわりの水漏れや、水が止まらないなど、緊急を要するときは下図の要領で止水栓または元栓を閉めてください。

マイナスドライバーを差し込み、湯側・水側の止水栓を閉める。

それでも止まらない場合は元栓を閉める。

●**次のような場合は、故障ではありません。**修理を依頼される前に以下のことをお調べになり、それでも直らないときは、**お求めの取付店・販売店、またはTOTOメンテナンス(株)**へ修理を依頼してください。詳しくはアフターサービス(P.35)をご確認ください。

修理を依頼される前に			
現象	**お調べいただくところ**	**処置の仕方**	**参照ページ**
水が止まらない	シャワー開閉ハンドルは止水位置にあっていますか。(全閉になっていますか)	シャワー開閉ハンドルを止水位置にあわせる。	16ページ
	定量ハンドルの目盛り "止" がポイント位置とずれていませんか。	定量ハンドルの目盛りを確認する。	15ページ
	定量ハンドルの動きを妨げていませんか。	定量ハンドルまわりを確認する。	15ページ
	シート部にごみが付着していませんか。	自動バルブの掃除をする。	27・28ページ
	バルブの小穴が目詰まりしていませんか。	自動バルブの掃除をする。	27・28ページ
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	9ページ
	吐水口・フィルターの目詰まりはありませんか。	吐水口・フィルターの掃除をする。	24〜26ページ
	ガス給湯機と組み合わせてご使用の場合、能力切替式のものでは適正能力にセットされていますか。	ガス給湯機の能力を適正能力にセットする。	—
	吐水口・フィルターは凍っていませんか。	吐水口・フィルター部分にぬるま湯をかける。	23ページ
高温しか出ない	水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	9ページ
低温しか出ない	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の給湯温度・作動を確認する。	10・11ページ
	湯側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。	9ページ

修理を依頼される前に			
現象	**お調べいただくところ**	**処置の仕方**	**参照ページ**
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は調節されていますか。	止水栓で流量を調節する。	9ページ
	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の給湯温度・作動を確認する。	10・11ページ
	吐水口・フィルターの目詰まりはありませんか。	吐水口·フィルターの掃除をする。	24〜26ページ
	温度調節ハンドルの設定はあっていますか。	温度調節ハンドルの設定を確認する。	12・13ページ
湯量が大きく違う	湯量の設定を間違えていませんか。	定量ハンドルの目盛りを確認する。	17・18ページ
	定量ハンドルの動きを妨げていませんか。	定量ハンドルまわりを確認する。	15ページ

止水栓の位置がわからない場合は、「各部のなまえ」(P.7)を参照してください。
または、お求めの取付店にお問い合わせください。

豆知識

エアインシャワー使用時の注意事項

瞬間式給湯機の場合、給水温度の高い夏場において、吐水量を少なくして使うと給湯機が着火しないことがあります。この場合には、給湯機の設定温度を下げてお使いください。

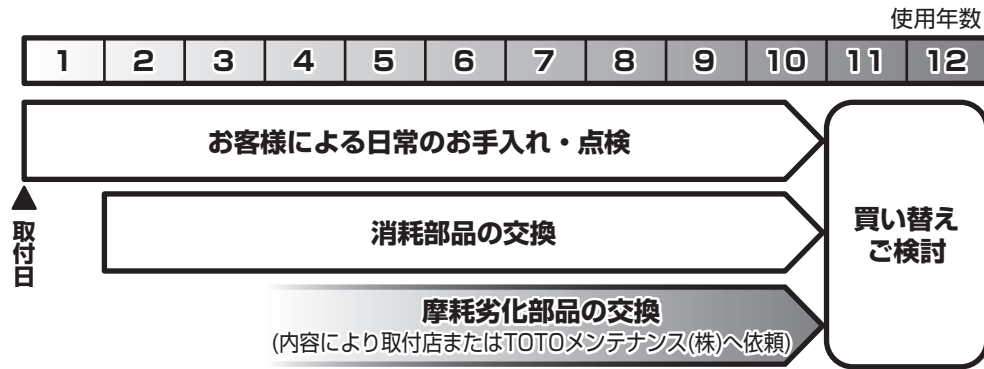
アフターサービス

使用年数

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

▲取付日

- お客様による日常のお手入れ・点検
- 消耗部品の交換
- 摩耗劣化部品の交換（内容により取付店またはTOTOメンテナンス(株)へ依頼）

→ 買い替えご検討

【修理を依頼する前に「故障かな？と思ったら」(P.32)をご確認ください!】

保証書（この説明書のP.38が保証書になっています）

●この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日、取付店（または販売店）名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

●保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

●保証期間中は

保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付ラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
→「修理を依頼されるときは」「修理料金について」(P.36)をご確認ください。

部品の交換について

無料修理により取り外された部品・商品はTOTO株式会社の所有となります。

補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品（機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの）の供給期間は製造中止後10年です。

摩耗・劣化する部品の交換

●バルブやパッキンが摩耗・劣化すると水漏れの原因となります。
この場合、該当部品の交換が必要です。

●摩耗・劣化部品の交換は、**お求めの取付店・販売店、またはTOTOメンテナンス(株)**へ依頼してください。

修理を依頼されるときは

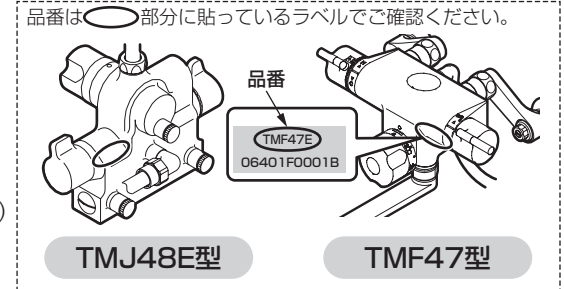
【修理依頼先】

お求めの取付店・販売店または
TOTOメンテナンス(株)

【ご連絡いただきたい内容】

①住所、氏名、電話番号
②商品名　③品番　④取付日
⑤故障内容、異常の状況
（どこから水漏れしているかなど）
⑥訪問希望日

品番は◯部分に貼っているラベルでご確認ください。

TMJ48E型　　TMF47型

【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTOお客様相談室」または**「TOTOメンテナンス(株)」**

修理料金について<TOTOメンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理をさせていただきます。

標準修理料金は **技術料** ＋ **部品代** ＋ **訪問料** で構成されています。

ただし、補修用性能部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

MEMO

TOTO®

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店(または販売店)、または TOTO メンテナンス(株)(TEL 0120−1010−05　FAX 0120−1010−02)に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ　　様
	おところ　〒
取付店／販売店	〒 ㊞ 電話　　−
取付日／ご購入日	年　月　日

商品名	サーモスタットシャワー金具・バス水栓
品番	TMF47型 TMJ48E型
保証期間	取付日/ご購入日から2カ年
用途	一般住宅浴室用

★お客様へ

・この保証書をお受け取りになるときに、取付日、取付店（または販売店）名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。

・保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。
（1）上記用途以外で使用した場合の不具合。
（2）適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
（3）弊社が定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
（4）建築躯体の変形などに起因する商品の不具合。
（5）塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
（6）金属の腐食しやすい環境（海岸付近、温泉地など）に起因する不具合。
（7）ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなどに起因する不具合。
（8）火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
（9）電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および送電線・周辺器具など外部から発生する電磁波に起因する不具合。
（10）部品（乾電池など）の消耗による不具合。
（11）日常のお手入れ箇所（フィルターなど）や水抜栓などのOリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
（12）砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
（13）水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
（14）凍結に起因する不具合。
（15）本書の提示がない場合。
（16）本書にお客様名、取付日、取付店（または販売店）名、扱者印の記入のない場合。

・部品の交換について
無料修理により取り外された部品・商品は、TOTO株式会社の所有となります。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室または TOTO メンテナンス (株) にお問い合わせください。

TOTO株式会社

〒802-8601　福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室　TEL 0120-03-1010　FAX 0120-09-1010